

PDCAチェックシート

実施年度	令和6年度			担当課名	総務課
事務事業名	選挙啓発にかかる事業				
【Plan】計画		【Do】実施・実行		【Check】点検・評価	
■目的 若年層をはじめとした有権者の政治意識の向上を図り、長期的な観点から投票率を向上させる取り組みが重要であることから、義務教育段階からの選挙啓発に取り組み、全年代の中でも特に低下傾向が顕著とされる若年層の投票率改善を図る。		■具体的取組 ・選挙啓発出前授業の実施 ・若年層向け選挙啓発冊子の配布 ・児童・生徒向け選挙啓発ポスター作品募集 ・令和6年度市町明るい選挙推進協議会委員等研修会（東讃ブロック）開催		■成果指標の具体的検証結果 （インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載） 市内学校関係者の協力を得て選挙啓発出前授業を、昨年度より2回多い4回実施し、うち1回は学校行事の職業体験・見学ツアーにあわせて実施する機会を得た。参加人数は17名多い49名となった。授業内容について、令和6年度から総務省作成の選挙啓発動画を活用し、授業内容の充実に努めた。 成果指標について、概ね達成に近づいているが、一部未達成の授業があった。選挙啓発出前授業を実施する土曜日授業が児童の自由参加であるため、まとまった参加人数を確保できなかったことや、限られた時間内で動画視聴、模擬投票を中心にを行うため、学び体験したことを児童間で共有できる機会が少なかったことが原因と評価している。 事後アンケートでは参加した児童の多くが選挙で投票をすることについての考え方が変わる契機となったと回答した。自由意見欄では、実際の選挙機材に触れたことや、選挙クイズ、模擬投票体験に係る記載がある一方で、自身の投票結果が及ぼすその後の影響について感じ取った意見もあり、政治意識の向上にも寄与できている。 また、本市の選挙啓発出前授業は、総務省が作成し全国の選挙管理委員会や教育機関に広く発信する「主権者教育だより vol. 87（令和6年8月）」にも掲載され、選挙啓発に係る効果的取組としての評価を得たものと捉えている。	
■成果指標（アウトカム・KPI）※ 【目標値】 選挙啓発出前授業の事後アンケートによる効果検証 ① 選挙への興味喚起の契機として ⇒ 出前授業への評価 80%以上 ② 投票行動への動機付けとして ⇒ 将来の投票への展望 80%以上の意見を受講した児童・生徒から得る。 【達成値（R6実績値）】 選挙啓発出前授業実施回数 4回		■インプット（投入金額等） 事業費等 報償費 45千円 （啓発ポスター募集記念品） （講師等謝礼） 需用費 3千円 （食糧費）		■検証結果を受けての具体的対応 選挙啓発出前授業について、土曜日授業における複数学年合同開催や、平日の授業内での実施、スポーツクラブ活動が少ない時期の開催について検討し、参加人数の確保に努めていく。 総務省主権者教育動画の活用は継続しながら、動画視聴や模擬投票にかけける時間を調整し、児童間での意見交換や振り返りの時間を設けることで学びを共有する。	
■大内小学校6年生 14名出席 出前授業が面白い 76.9% 18歳になったら選挙に行く 92.3% ■引田小学校6年生 18名出席 出前授業が面白い 83.3% 18歳になったら選挙に行く 88.9% ■引田小学校5年生 4名出席 出前授業が面白い 50.0% 18歳になったら選挙に行く 75.0% ■白鳥小学校4年生 13名出席 出前授業が面白い 100.0% 18歳になったら選挙に行く 83.3%		■アウトプット（数量等） 実施回数等 ・選挙啓発出前授業を4回実施。 ・市はたちのつどい出席者に選挙啓発パンフレット配布（230部） ・選挙啓発ポスターについて市内小中学校の児童・生徒から29点の応募。 ・令和6年度市町明るい選挙推進協議会委員等研修会（東讃ブロック）開催（本市から17名参加）		■評価 現状維持	

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標（数値）をいう。